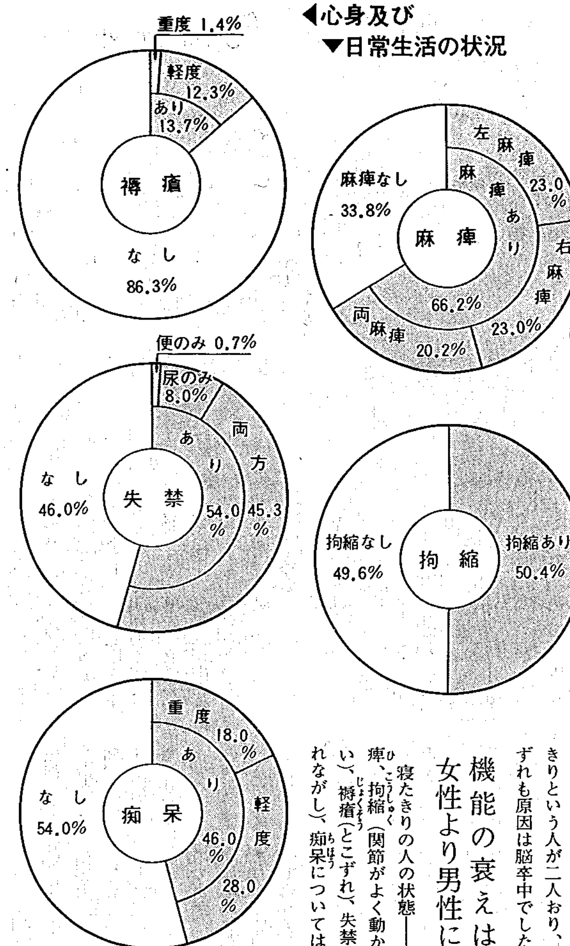
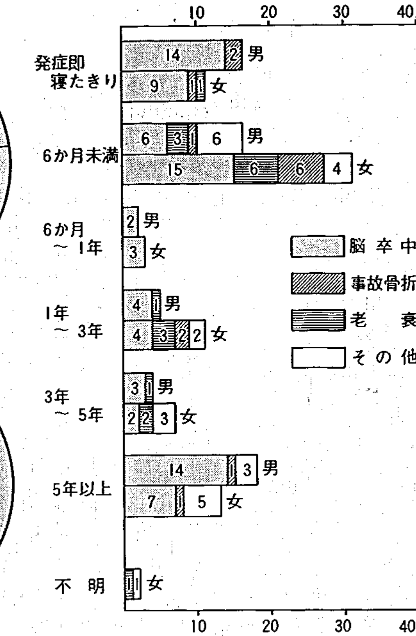
◀心身及び
▼日常生活の状況



寝たきりになるまでの期間
(原因疾患別)



前のページから

たきりになっています。上のグラフでもわかるように、発症と同時に寝たきりになる人は、大部分が脳卒中によるものです。

次に、寝たきりになってからの期間では、最も多いのが「一年～三年」の三五・三%、次いで「五年～十年」の一五・八%となっています。今回調査した中では、二十年間寝たきりという男性が最長期間であり、原因は事故骨折です。また女性では、十九年間寝たきりという人が二人おり、いずれも原因は脳卒中でした。

機能の衰えは女性より男性に

寝たきりの人の状態――麻痺、拘縮（関節がよく動かない）、褥瘡（とこずれ）、失禁（たれながし）、痴呆については、上のグラフのような結果になりました。男女別にみると、この五項目すべてにおいて、「あり」は男性に多く、女性は比較的少ないという差がみられました。また褥瘡は予想していたより少なく、重度の二名は女性でした。

寝たきりといってもさまざまです。全く動けない人もいれば、起きることができる人、手を借りれば立つことができる人もいます。今回の調査では、過半数の人が自分で寝返りができると答えています。そして自分で寝返りのできる人の中には、褥瘡ありの人は一人もいませんでした。また、人の手を借りれば寝返りができるという人が二八・一%、まったく寝返りができないという人は一五・一%でした。

寝返りができるということは、介護しやすいということでもあり、最後まで機能保持に努めることが大切です。

女性の方が自立度が高い傾向

排泄動作についても同様の調査を行いました。寝たきりであっても、人手を借りずに排泄できる人は、男性が一四・八%、女性が三七・二%であり、女性の方が自立度が高いという結果です。排泄時に家族の介護を必要とする人は七二%と多く、おむつ利用者は、男性が五五・七%、女性が四一%となっています。

また、寝たきりの人にとって一番切実で、しかも困難なものは入浴ですが、これは六〇・四%の人がしてもらっていました。このほか清拭（体の汚れをふきとる）だけという人が三七・四%であり、入浴も清拭もしてもらっていない人が三人という結果でした。

介護者自体の高齢化が進行

今回の調査は、寝たきり老人を抱える家庭を訪問し、面接して実施したため、介護にあたっている人たちの"ナマ"の声を聞くこともできました。最後に、それらの中からいくつかをご紹介しましょう。

▽介護者の負担が大きく、健康への影響が心配。
▽家族の協力が得られず、介護の代替者がいない。
▽ボケや徘徊癖（うろつきまわること）のため、一時たりとも目が離せない。
▽排泄や入浴の世話が困難である。入浴車を配置してほしい。
▽いざという時、寝たきり老人を一時預かってくれる施設が近くにほしい。

寝たきり老人を介護している人自体の高齢化が進んでいます。そのため排泄や入浴時には、介護者一人ではたりず、人手を借りないと困難だという家庭が多くなっています。

介護は時間もかかるし、想像以上に労力も必要です。寝たきり老人の問題は、介護する家族だけではなく、今後老人を抱えていく若い世代も含めた地域ぐるみの課題です。

自立心を呼び起こす方法で

日赤家庭看護教師の佐々木成子さん（新栄町）に、寝たきり老人を介護する場合のポイントなどをお聞きしました。

＊　＊　＊

寝たきりになる原因は脳卒中が一番多いようです。ですから脳卒中にならないよう、普段から気をつけることが大切ですが、不幸にして脳卒中で倒れた時は、応急手当が問題です。手当が悪いばかりに、容態がひどくなって寝たきりになってしまうことがあります。機会があったら講習会などを受け、正しい手当の方法を覚えてもらいたいですね。

次に寝たきりになった場合の介護のポイントですが、一番大事なのは、腕や足の関節を伸ばしきったままの状態にしておかないということです。普通に寝たままの姿勢では、手足が伸びきって固まってしまいます。くわしいことはお医者さんや保健婦さんに聞いていただきたいのですが、関節を自然な形に保ち、ちょっと曲げておくことです。手足が動けば、介護も随分楽になります。

床ずれや肺炎などの合併症にも気をつけてもらいたいと思います。これらを防ぐには、機会をみつけては体の向きを変えたり、上半身を起こしてやることです。それにおむつをしている場合は清潔にし、尿路感染に気を配りたいですね。

寝たきりのお年寄りの場合、一般の病人とは違って、至れり尽くせりのサービスは逆効果の一面があります。本人ができることは、本人にやらせることです。それには周囲の理解も必要ですが、こうすることによって自立心が呼び起こされていくのです。抽象的な言い方になりますが、人間が人間らしく生きるとはどういうことなのかを、介護する人もされる人も、ともに考えてほしいですね。

昨年6月、市民会館で開かれた老人看護法講習会

高齢者事業団に「参加したい」が七%

市では、昭和五十八年度に「高齢者事業団」（仮称）を設立するため、いま準備を進めていますが、その一つの作業として、さきごろ六十歳以上のお年寄りと事業所を対象にアンケート調査を行いました。

高齢者のアンケートでは、対象者六千百七十二人のうち、回答したのは三千三百五十七人。回答率では五四・四%です。このうち、高齢者事業団ができたら「参加したい」とする人が男性で三百二十六人、女性で百十八人の計四百四十四人で、全体の七・二%という結果でした。

参加を希望する理由は「健康のため」というのが最も多く、次いで「社会のために役立ちたい」と続いています。

また「どんな仕事をしたいと思いますか」という問いには、「体を動かす」仕事に人気が集まっていました。

事業所に対するアンケートは、市内の飲食店を除いた従業員五人以上の七百二十二事業所を対象に行い、三百八社から回答を得ました。回収率は四二・七%です。

このうち、「高齢者事業団に発注できそうな仕事がありますか」という問いに、「ある」と答えたのは三十八社、「今後あるかもしれない」というのが五十社で、両方合わせて全体の一二・二%という結果でした。

これらを参考にしながら、「高齢者事業団」設立へ向けて準備を急ぐことにしています。

お買物、ご用命は市内で

肌着・化粧品
資生堂チェインストア
本町2丁目 マツヤ ☎(2)0418 (3)0630
第四銀行が向い。北越銀行がとなり。

あなたの安心を企画する
有限会社 樋口保険企画
新津市金沢町3丁目7番20号 電話(2)6774番
損害保険 安田火災海上
生命保険 ALICO アリコジャパン
アメリカンライフインシュアランスカンパニー

お買物、ご用命は市内で

11時～2時迄
サービス・天ぷら定食…¥400
特製みそラーメンをどうぞ
食堂 まつさか ☎2-3981

朝9時30分までの受付は当日上り
高級衣類のお手入れは……
マルヤクリーニング 持込2・3割引 ☎2-0739
正しいクリーニングと保存は衣類の本当の節約